

請求の範囲

- [請求項1] 診断用映像に対する被検者の視点の分布を示す分布マップを取得する取得部と、
- 前記分布マップに基づいて認知機能障害を診断する診断部と、
- を備え、
- 前記診断用映像は、視覚的に強調表示される記銘画像を含む第1領域と、強調なしで表示される通常画像を含む複数の第2領域とを有する第1映像、および、
- 前記記銘画像と類似し前記記銘画像と同じ位置に視覚的な強調なしで表示される評価用画像を含む第3領域と、前記複数の第2領域とを有する評価用映像を時間順に含み、
- 前記診断部は、
- 前記評価用映像に対する分布マップにおいて前記第3領域の注視率を算出し、
- 前記注視率がしきい値より低い場合、記憶障害の疑いがあると診断する
- 認知機能障害診断装置。
- [請求項2] 前記第1映像は、前記第1領域と前記複数の第2領域とを有する第1記銘映像、および、前記第1領域を有し前記複数の第2領域を有しない第2記銘映像を時間順に含む
- 請求項1に記載の認知機能障害診断装置。
- [請求項3] 前記診断用映像は、前記第1映像と前記評価用映像との間に表示される他の映像を含む
- 請求項1または2に記載の認知機能障害診断装置。
- [請求項4] 前記診断用映像は、前記第1映像と前記他の映像とを2回以上繰り返す映像を含む
- 請求項3に記載の認知機能障害診断装置。
- [請求項5] 診断用映像に対する被検者の視点の分布を示す分布マップを取得す

る取得部と、

前記分布マップに基づいて認知機能障害を診断する診断部と、
を備え、

前記診断用映像は、診断用の正解画像または記銘画像を含む第1領域と、他の画像を含む複数の第2領域とを有し、

前記診断部は、

前記診断用映像に対する前記分布マップにおける前記第1領域の注視率または前記第2領域の注視率を算出し、

前記注視率としきい値と比較することによって認知機能障害の有無を診断する

認知機能障害診断装置。

[請求項6]

前記診断用映像は、正解文字列画像を含む前記第1領域と、不正解文字列画像を含む前記複数の第2領域とを有し、

前記診断部は、

前記診断用映像に対する分布マップにおいて前記第1領域の注視率を算出し、

前記注視率がしきい値より低い場合、失語症の疑いがあると診断する

請求項5に記載の認知機能障害診断装置。

[請求項7]

前記診断用映像は、

既知の物を示す画像を含む画像領域と、

当該物の名称を問う質問文を含む質問領域と、

当該物の名称を示す文字列画像を含む前記第1領域と、

当該物の名称以外の文字列画像を含む前記第2領域とを有する

請求項6に記載の認知機能障害診断装置。

[請求項8]

前記診断用映像は、

意味のある文字列を含む前記第1領域と、

意味のない文字列を含む前記第2領域とを有する

請求項 6 に記載の認知機能障害診断装置。

[請求項9]

前記診断用映像は、

行列状に配置された複数の文字を含み、

前記第 1 領域は、意味のある文字列で構成された行または列に対応し、

前記第 2 領域は、意味のない文字列で構成された行または列に対応する

請求項 8 に記載の認知機能障害診断装置。

[請求項10]

前記診断用映像は、正解画像を含む前記第 1 領域と、不正解画像を含む前記複数の第 2 領域とを有し、

前記診断部は、

前記診断用映像に対する分布マップにおける前記第 1 領域以外の領域の注視率を算出し、

前記注視率がしきい値より高い場合、認知機能障害の疑いがあると診断する

請求項 5 に記載の認知機能障害診断装置。

[請求項11]

前記診断用映像は、

第 1 の図形の直視を誘導する指示文を含む指示文領域と、

第 1 の図形を示す前記正解画像を含む前記第 1 領域と、

第 1 の図形と類似の図形を示す不正解画像を含む第 2 領域と、

第 1 の図形と類似しない図形を示す不正解画像を含む他の第 2 領域とを含み、

前記診断部は、前記指示文領域または前記他の第 2 領域の注視率を算出する

請求項 10 に記載の認知機能障害診断装置。

[請求項12]

診断用映像に対する被検者の視点の分布を示す分布マップを取得し、前記分布マップに基づいて認知機能障害を診断するコンピュータが実行する認知機能障害診断プログラムであって、

前記診断用映像は、視覚的に強調表示される記銘画像を含む第1領域と、強調なしで表示される通常画像を含む複数の第2領域とを有する第1映像、および、

前記記銘画像と類似し視覚的な強調なしで前記記銘画像と同じ位置に表示される評価用画像を含む第3領域と、前記複数の第2領域とを有する評価用映像を時間順に含み、

前記認知機能障害診断プログラムは、

前記評価用映像に対する分布マップにおいて前記第3領域の注視率を算出し、

前記注視率がしきい値より低い場合、記憶障害の疑いがあると診断する

ことを前記コンピュータに実行させる

認知機能障害診断プログラム。